

リュウキュウマメガキ

Diospyros japonica Sieb. et Zucc.

カキノキ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内での生育地が限られている。(現況:R+)

形態

マメガキに似て、葉は裏面が灰白色を帯び、若い時に毛があるが、後に無毛となる。葉柄は長さ1~3cmと長く、葉の基部は円くてときに切形ないしやや浅心形となる。

国内分布

本州(関東地方以西)、四国、九州、沖縄。

県内分布

中能登区、南加賀区。

生態など

8~9mになる落葉高木。雌雄別株。6月頃黄白色の花を付け、雄花はふつう2個ずつつき、雌花は1個ずつつく。

生育環境

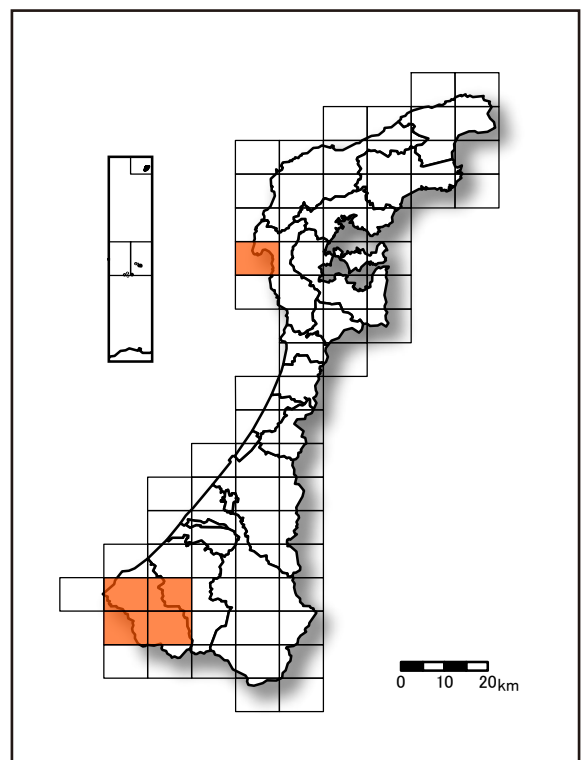
山地の日当たりのよい谷間や斜面。

危険要因

森林伐採、道路工事、自然遷移、産地局限、生育地の自然崩壊。



小野ふみゑ・2008年9月30日・志賀町



県内の分布